



ふれあい市長室



南あわじ市長 守本 憲弘

地域の宝 淡路人形浄瑠璃

人形劇を通じた国際的なネットワーク組織として、フランスやスペインなど欧州を中心に10か国15都市*が加盟する「人形劇の友・友好都市国際協会(AVIAMA)」という団体があります。国内では淡路人形とも関わりが深い長野県飯田市が創立メンバーであり、この8月、同市では人形劇のまちとなって40周年を記念し、世界人形劇フェスティバルとそれに併せてAVIAMAの総会(欧州以外での開催は初めて)が開催されました。

南あわじ市も飯田市長に招かれ、オブザーバーとしてその国際会議に参加し、加盟が承認されましたが、淡路人形浄瑠璃発祥の地としての本市の知名度と、AVIAMAへの参加に対する期待の高さに少々驚かされました。実際、淡路人形座は、従来から世界中に巡業し、好評を博しており、今年10月にも、日仏友好160周年記念行事「ジャポニズム2018」において日本を代表する地域伝統芸能としてパリ公演を行います。

昨年の着任以来、私も、先月号で紹介した姉妹都市の米国セライナ市の市長・議員はじめ、海外のお客様を何

*総会前の加盟数。総会后、南あわじ市を含め2か国4都市が新たに加盟

第3回学園祭を開催

11月10日(土) 午前10時~午後4時

年に一度の大イベント学園祭「第3回くうみ祭」を開催します。老若男女誰でも楽しめる企画をいっぱい準備しています。気軽に大学まで遊びに来てください。

日時 11月10日(土) 午前10時~午後4時

場所 同大キャンパス内

イベント ミニスポーツ大会、イントロクイズ、チャリティバザー、移動動物園、スーパーボール、焼きそば、フランクフルト、ケバブなど

*イベントの詳細については来月号に掲載予定

同大事務室 ☎ 42-4700



人も淡路人形座に案内していますが、例外なく、その魅力に感動されます。私は、その背景に二つのものがあると考えています。一つは、劇場全体の「別世界」性です。日本文化の深層を伝える人形、語り、三味線の音が醸し出す「異質の空間」に浸る経験と言い換えてもいいでしょう。もう一つは、それを支える確かな芸術性です。世界的ヒットのミュージカル、「ライオンキング」の演出家が、淡路人形座に滞在し、学び、動きを取り入れたことでも、世界に通じる表現力の高さが現れていると思います。

一方、地域住民が、どこまでこの資産を活かしているかという点では、まだ向上の余地大と感じます。AVIAMAの各市では、それぞれの人形劇を中核としたお祭りや国際的にも発信しています。飯田市の世界人形劇フェスティバルも、2,000人のボランティアからなる民間の実行委員会を中心となって、世界中の人形劇を呼び込んだ市民あがりのイベントです。

淡路人形浄瑠璃は500年の歴史を持ち、現在でも小中学校、高等学校の部活動で後継者に引き継がれているなど、人々の意識には保存していくべき地域の伝統芸能として定着しています。ただ、これまでの淡路人形座は、日中の観光客を想定した興業中心であり、多くの住民が身近な楽しみとして訪れる場とはなっていなかったと思います。

こうした現状を打破しようと、最近では、休日の夕方などに、新演目をお披露目したり、講談とのコラボに挑戦したりと、地域住民が楽しめる企画に意欲を燃やしています。新たに地元から入った3人の新人も太夫、人形遣いとして頑張っています。

この淡路島の貴重な資産が、地域住民に愛され、かつ、世界に発信する大きな宝物となるよう、皆さま方と一緒に応援して参りたいと思います。

10月開講講座 ※要申込・参加無料 地域創成生涯学習講座「健康・福祉編」

場所 同大キャンパス内大講義室(C棟3階)

申込み・問合せ

同大地域連携センター ☎ 42-4708

④小児の診療を翻弄しているインフルエンザのあれこれ

日時 10月18日(木) 午後1時30分~3時

⑤認知症予防の運動と生活習慣

日時 10月22日(月) 午後1時30分~3時

⑥「し忘れ」の原因と対応について

日時 10月30日(火) 午後1時30分~3時



東京2020オリンピック・パラリンピックの大会旗が全国を巡回するフラッグツアーで、市役所に8月22日、フラッグが到着し、記念セレモニーが行われました。セレモニーでは、パレーポール元日本代表の佐伯美香さんと南あわじ市出身でパレーポール日本代表の村上礼華さんのトークショーが行われ、村上さんは「五輪に



セレモニーに出演した佐伯さん(左)と村上さん

東京五輪・パラリンピックフラッグが南あわじ市へ

出られるように頑張りたい」と抱負を語りました。

平成21年度から行われている淡路島3市と大韓民国南海郡とのサッカー交流。8月24日~26日、3市から選ばれた中学生21人を南海島へ派遣し、南海スポーツパークで現地の中学生らと2試合の親善試合を行いました。試合会場は友好的な雰囲気、両チームとも応援席から声援を受けながら、サッ

淡路島・南海島(大韓民国)中学生がサッカー交流

カーを楽しんでいました。結果は、第1試合・第2試合ともに2対1で淡路島が勝利。試合終了後、お互いの健闘をたたえ合いました。また、両チームは合同合宿をし、食事を共にしたほか、カラオケでお互いの自国の歌を披露するなど交流を深めました。



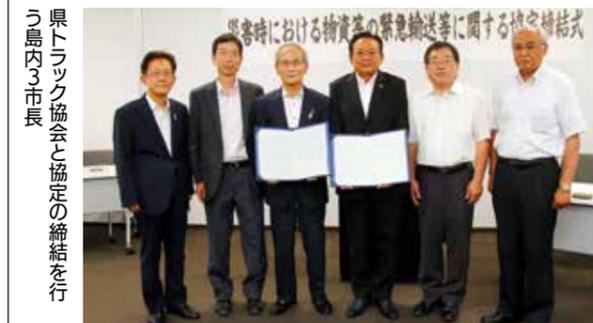
淡路島と南海島の中学生がサッカーで交流(大韓民国南海島にて)



守本市長と記念撮影をする武井さん(右から2人目)ら

100歳おめでとう 市長が長寿を祝い訪問

今年度、100歳を迎える高齢者をお祝いするため、9月3日、守本市長が希望者宅を訪問しました。武井みつるさん(広田)宅を訪ねた守本市長は、「これからお元気で」とお祝い状を贈りました。元気の秘訣を尋ねられた武井さんは、「生懸命に生きること」と笑顔で答えていました。



県トラック協会と協定の締結を行う島内3市長

災害時の物資輸送等に協力 県トラック協会と協定締結

地震・風水害などの災害に備え、8月28日に淡路島内の3市が一般社団法人兵庫県トラック協会と物資の緊急輸送等に関する協定を締結しました。協定により、災害が発生した際、各市の要請を受けて同協会が緊急物資の運搬や荷下ろし等に必要となるトラックやフォークリフト等

の車両や資器材の提供と、人員の派遣を行います。同日、洲本市役所で行われた締結式では、各市長が同協会の尾上昌史副会長と協定書を取り交わしました。尾上副会長は「南海トラフ地震などの災害が懸念される中、意義のある協定。要請があれば優先かつ迅速に協力したい」と話していました。